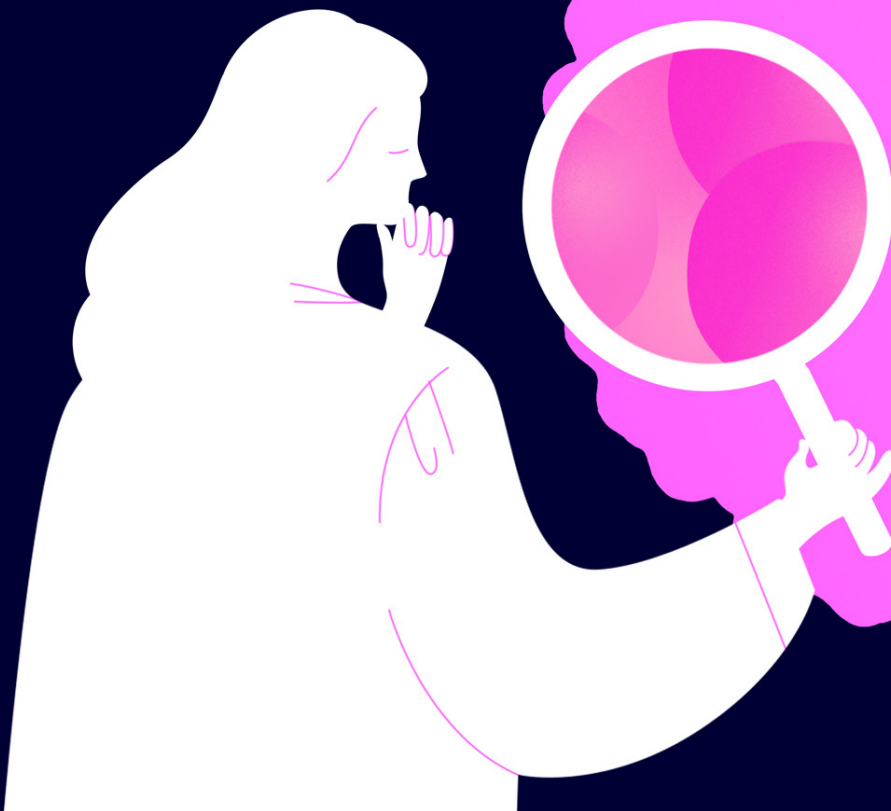


子宮頸がん予防コース



01

子宮頸がん予防

子宮頸がん予防

ようこそ

子宮頸がんは、全世界において女性が罹患するがんのうち2番目に多いがんであり、ほとんどの開発途上国においては最も重要ながんである。

子宮頸がんの多くは予防可能であり、早期に診断治療が行われればほとんどが治癒可能である。しかし、十分な予防策が講じられずに進行すると、治癒不可能となり若い女性の主要な死亡原因となる。

HPVワクチンや子宮頸がん検診におけるHPV検査の登場は、子宮頸がん予防における画期的なことである。



全世界の女性を対象とした新たなワクチンの導入には、多くの医療関係者や行政関係者がその価値や必要性を十分に理解しておくことが必要不可欠である。それにより、様々な文化、信仰、言語をもつ多くの家族たちに適切な説明を行うべきである。

新しいワクチンに関する情報は、科学的に正確なものでなくてはならない。また、偏見があってはいけない。コミュニケーションは正確でなければならず、教育的に考えられたもので、誠実に伝えるべきである。

このバーチャルコースは無償で受講ができ、移動や時間の制約や言語の壁を越えて、世界中の医療関係者に多くの知識を提供できるように設計されている。

私は、とても精巧につくられたこのオンラインコースの編集に携わってこられた方々の努力に感謝する。また、コースの中で皆様の質問に答え、専門的チューターとなる様々な専門家の方々にも感謝する。さらに、このプロジェクトを積極的にサポートしてくださった多くの国際機関に感謝する。

私はこのコースが有益で十分な期待に添えることを祈念する。



F. Xavier Bosch MD, PhD, MPH

Honorary consultant, Cancer Epidemiology Research Program (CERP).

Director, e-oncología at the Catalan Institute of Oncology and IDIBELL.

Associate Professor, UOC Open University of Catalonia.

はじめに

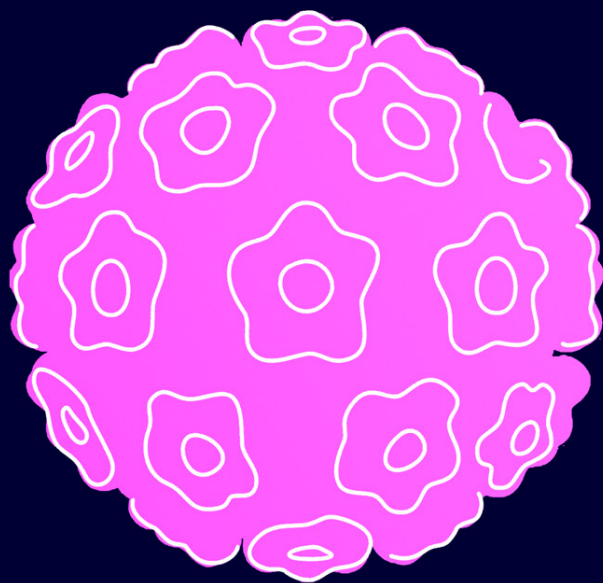
この完全なバーチャルコースには、子宮頸がんの疫学を含めた詳細で最新の科学情報や、HPV感染予防や子宮頸がん予防に関する最新の進捗情報が含まれている。

本プログラム参加者は、子宮頸がんの女性に与えるインパクトや自然史、21世紀における子宮頸がんの一次予防と二次予防法についてのいくつかの異なった有用な知識を得ることができる。

このコース内容は子宮頸がん予防に携わる以下のような医療関係者向けに作られている。

- 婦人科専門医、小児科専門医、微生物学専門家、プライマリーケア医、総合診療医、ワクチン専門家、
- 公衆衛生専門家、ヘルスプランナー、ヘルスプログラムマネージャーなどの研究者や教育者、
- 専門看護師や助産師。

子宮頸がん予防コース



02

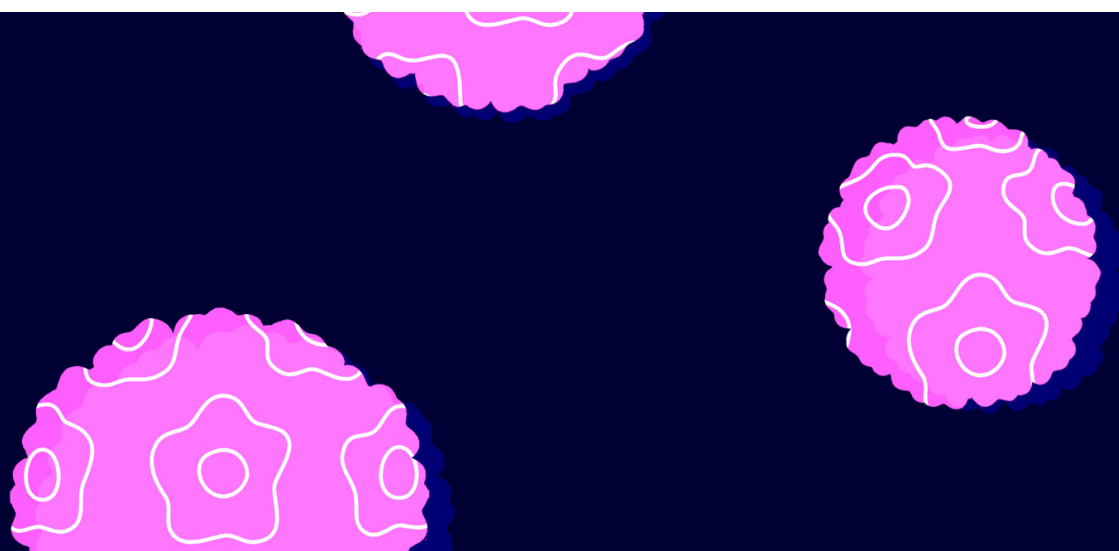
HPVと子宮頸がんの自然史

HPVと子宮頸がんの自然史

キーメッセージ

子宮頸がん罹患の4つの主要なステップは次のとおりである感染、持続、進行と浸潤。

ヒトパピローマウイルス (HPV)は、世界で最も一般的な性感染の一つであり、ほとんどすべての子宮頸がんの罹患に必要な因子である。



ほとんどすべての女性と男性は、性的活動性をもった後、生涯で少なくとも一度はHPVに感染するが、前がん病変および子宮頸がんを発症するのは感染女性のごく少数である。

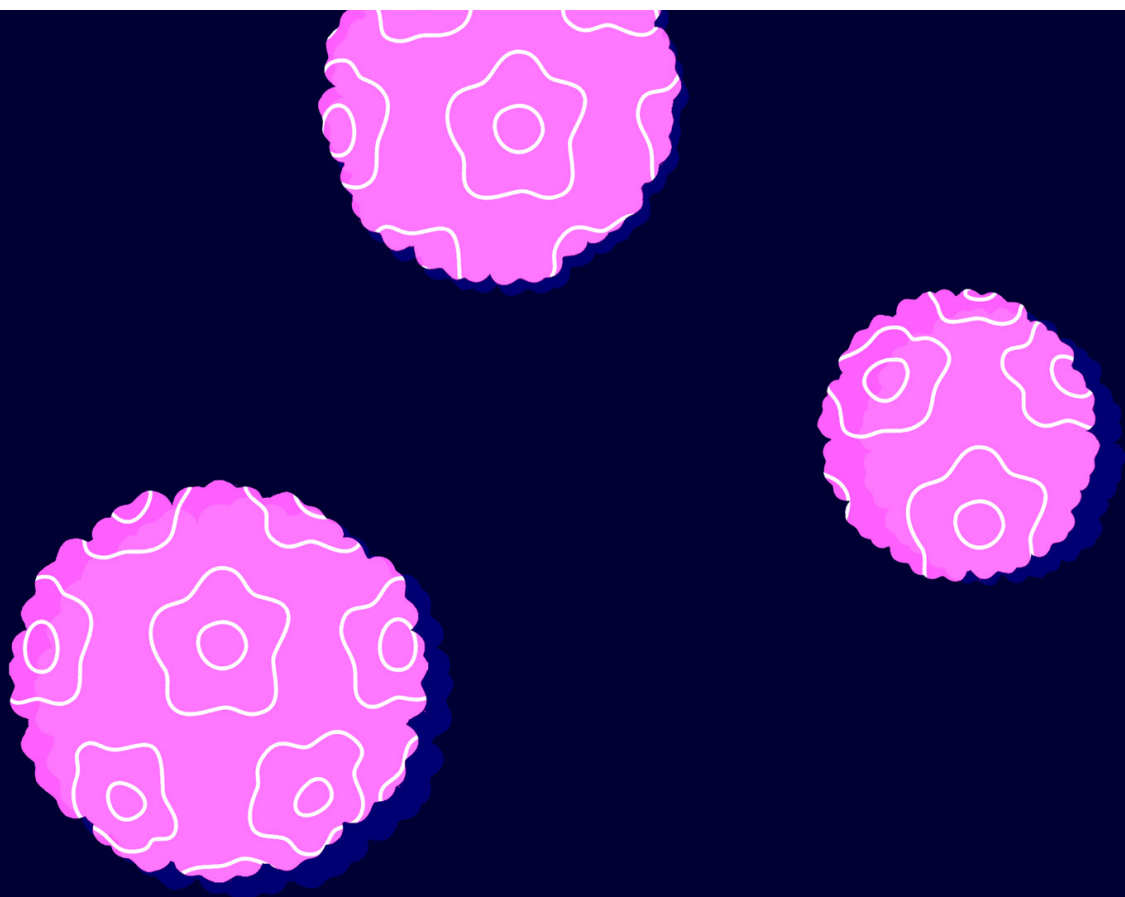
ほとんどのHPV感染は無症候性であり、2年以内に自然に消失される。2年以上持続するものは、前がん病変と関連する可能性が高くなる。

ウイルスE6及びE7がんタンパク質は、宿主細胞周期制御の調節を解除し、HPVに感染した細胞の増殖および生存を促進する。これらのがんタンパク質の持続的発現により遺伝子変異が蓄積し、細胞の不死化、最終的には悪性転化することとなる。

HPVは子宮頸がんの罹患に必要な因子であるが、HPV感染の子宮頸がんへの進行において役割を果たしているいくつかの共役因子もある。

高度な高度扁平上皮内病変および子宮頸がんへの進行に必要なHPV感染の持続性と進行に影響を与える共役因子には、経口避妊薬の長期使用、喫煙、高経産回数、HIV感染、および免疫抑制が含まれる。

HPV 16 および HPV 18は、子宮頸がん中存在する最も多い型で、症例の約70%を占める。



HPV感染獲得のリスクファクター

HPV感染の伝播

正常子宮頸部



性器のHPV感染

消退

HPV感染を獲得するためのリスクファクターは歴史的に次のようなことと結びつけられてきた:

- 性的活動の開始の若年化
- 新しい最近の性的パートナーの多さ
- 夫や男性パートナーがもつパートナーの多さ

これらの性行動パラメーターは、女性においては子宮頸がんのリスクが高いことと関連付けられ、男性と性行為を持つ男性においては肛門の感染症、肛門がんおよび陰茎がんのリスクが高いことと関連している。

HPV性器の**HPV感染**は両性共に世界中で最もありふれた性的に伝播する感染の一つである。

HPV感染の伝播は、最も一般的には膣と肛門での性行為を介しておこる。

伝播の他の形態は、性器の皮膚（粘膜）同士の接触（例えば、陰茎と外陰部）や母子感染によると報告されているが、子宮頸がんにおけるそれらの関連性はあまり重要ではなさそうである。口腔性交もまたHPV伝播の経路となりえる。

ほぼすべての女性と男性は性的活動を開始した後、一生涯で少なくとも一度はHPVに感染するが、少数の感染女性だけが前がん病変および子宮頸がんを発症する。

したがって、ほとんどの**HPV感染**は一過性であり、数ヶ月以内に通常は消失する。約80%が2年以内に消失する（**消失**）。

ほとんどの**HPV感染**は無症候性である。